



丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く～

令和2年10月30日(金) No. 8
横浜市立丸山台小学校長 新井 篤志

未来へつなごう 40周年記念

校長 新井 篤志

雨で1日順延となった運動会も子どもたちが元気に、そして力いっぱい演技を披露してくれました。子どもたちが今年のスローガンとして「心をついにし、絆を深めて思い出に残る最高の運動会にするぞ! おー!」を掲げました。新型コロナウイルスの予防を考えたいつもととは違う運動会になることは子どもたちも承知の上でのスローガンだったと思います。他の学年の演技もしっかりと見て、友達との協力関係もよく見られ、振り返りにもそのことが分かるものが多くありました。運動会をきっかけに後期の学校生活を充実できるようにしていきたいと考えます。また、保護者の皆様には運動会を開催するにあたってはいろいろな面でご協力いただきました。ありがとうございます。コロナ禍では運動会などの学校行事を行うにあたっては保護者の皆様方の協力が不可欠です。今後もよろしくお願いいたします。

さて、運動会の閉会式の後に40周年記念の一つとして「バルーンリリース」のセレモニーを実施しました。セレモニーの時間には青空となり、たくさんの風船を子どもたちが飛ばすには最高の状況になりました。運動会を盛り上げることにもつながりました。飛ばした風船につけていたメッセージを読んで、火曜日以降「とどきましたよ。」と電話や手紙での連絡が毎日のように入りました。風船が届いた場所を調べると、東京湾を越えて千葉県北西部まで届いていました。成田空港のそばの富里市や利根川近くの香取市などでした。横浜から遠く離れた場所から子どもたちに40周年記念のお祝いの言葉をかけていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

これから40周年の行事に向けて子どもたちを中心に取組んでいきます。40年の過去を振り返ると同時に、これから先、未来の丸山台小学校はどんな学校にしていこうかを考えていけたらと思います。子どもたちとともに保護者や地域の方々とも連携を深めていける40周年記念にしていきたいと思います。

